

# 株式会社ジェイコム湘南・神奈川 湘南・鎌倉局、横須賀局

## 2019 年度 放送番組審議会 議事録

2019 年度の放送番組審議会は、2020 年 3 月 26 日(木)に電話会議で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

岸 宏司 様                      堀 一久 様                      堀江 敏 様  
堀口 すみれ子 様                森田 常夫 様

事業者側から局の現況に加え、J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)、および昨年度の放送番組審議会で審議された内容に対する改善点について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(森田会長による進行)

**委員** 取材が丁寧で地域に根差している。少ない取材スタッフだが、画質や音声も以前と比べ向上したと思う。行政とも連絡を密にしているようだ。私自身も取材者とフレンドリーな関係が築けている。今後も地域に密着した情報を発信してほしい。

**委員** タイムリーな地域情報を発信していると思う。地域のケーブルテレビとしての役割は満たされている。ただ、視聴者参加型、例えばナビゲート機能などがあった方がより分かりやすいのではないか。一方通行の情報だけではなく、コメンテーターによる解説などはどうか。そのニュースが地域に果たす役割や意味など客観的に解説、コメントしていただく人がいると良い。

**委員** デイリーニュースや特番で地域のスポーツやイベント、歴史等を網羅していると感じた。ただ情報として余韻がないように感じる。文章で言えば箇条書きのようだ。「こうだった」ということだけでなく、その情報が「どうなのか」を伝えることで幅がでると思う。今後は自然災害が多くなることが想定される。昨年の台風では J:COM の情報が非常に役立った。これからも安全情報を出してほしい

**委員** 行政から情報提供する際に、「こういうことをやっていて、こういうことを市民に届けたいという」という趣旨が伝わるよう、情報提供の仕方も考えないといけないと感じた。「ど・ろーかるアプリ」は市民が様々な情報を取れるようになるのもっとアピールした方が良い。昨年の台風の際には NHK を中心に見ていた。(報告書のツイッター

一のコメント等では)J:COM を見た方が良いなどが寄せられているようだ。昨年の災害対応を踏まえ反省事項として今後は NHK 含めた中でケーブルテレビ活用なども考えていきたい。

**委員** デイリーニュースが充実してきており、機動力もあるようだ。「わくわく1年生」は、とてもほほえましい。このような番組が増えれば、加入も増えるのではないか。放送しての保護者の反応はどうか。災害情報は緊張感があり、時期をとらえて放送しており良いと思う。

**事業者** 情報発信の仕方、コメンテーターでニュースに幅を広げる等の意見は参考にしたい。スタッフは、時間に合わせて番組制作しているところがある。制作スタッフを教育し、ニュースの本質を見る目を養いたい。また、各事務所に簡易中継機器を備えているので、番組構成をVTRとナレーションだけでなく、デイリーニュース中に生中継をするなど、ニュースの質を上げていきたい。行政からの情報は非常に重要なので、引き続き情報をいただき、デイリーニュースの中で伝えていきたい。

**事業者** 「わくわく1年生」は、一人ひとりが映るのは非常に短い時間だが、わが子がテレビに映ることで保護者の皆様に喜んでいただいている。また、この映像を成人式で使えないかといった声もいただいている。現在は横須賀のみでの放送だが、取材地域を拡大していけるようにしたいと思う。

**事業者** 皆さまからいただきました貴重なご意見は、来年度の J:COM の放送事業に活かしていきたいと思えます。